

# 会 議 録

## 1 会議名

第2回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○ 協議事項

- (1) 地域活動支援事業の審査について（公開）
- (2) 地域活動支援事業二次募集について（公開）
- (3) 指定避難所の見直しについて（公開）
- (4) その他（公開）

## 3 開催日時

平成26年5月16日（金）午後6時30分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所 301会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員： 飯田秀治、五十嵐正則、岩崎弘、金井景昭、金井貞子、佐藤健一、  
難波一仁、西山新平、丸山進、横尾清一、渡辺喜一
- ・ 事務局： 板倉区総合事務所：高嶋建設グループ長、平田産業グループ長  
牧区総合事務所：横田所長、古澤次長、橋詰市民生活・福祉グループ長  
宮腰班長、上原班長、五十嵐主任

## 8 発言の内容

### 【古澤次長】

ただ今から平成26年度第2回牧区地域協議会を開会します。

本日、佐藤優一委員、中川委員、羽深委員は欠席の連絡がございました。

したがって本日の出席委員は11人です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることとなりますので、丸山会長お願いします。

### 【丸山会長】

皆さま方ご苦労さまでございます。4月26日に地域活動支援事業のヒアリングを行いまして、提案者から忌憚のない意見を頂戴しました。その結果が今回資料として用意されておりますので、ご確認いただきたいと思います。よろしくお願いします。

### 【横田所長】

皆さまどうもお疲れ様です。いよいよこの週末から田植えがピークを迎えるのかなと思います。ただ、4月、5月と雨が少な目のため昨年のように今年も干ばつの被害が出るのかと心配しておりまして、私どもも時期を逸しないように情報収集に努めていきたいと思っております。また、会長からもお話がありましたが、牧区を元気にする地域活動支援事業について、皆さま方のおかげをもちまして順調に決定をさせていただく段取りができつつあります。ただ、初めて牧区で予算額に届かなかったという説明もこれからさせていただきますが、また検証していただきながら今後の方策に充てていただけたらと思っております。よろしくご審議お願いします。

### 【丸山会長】

それでは会議を始めさせていただきます。本日の議事録署名員は難波委員にお願いします。協議事項(1)「地域活動支援事業の審査について」事務局説明をお願いします。

### 【上原班長】

—資料 No.1 により説明—

### 【丸山会長】

皆さんのお手元に○×が記載されている資料がありますが、このまま14事業について皆さま方からご承認いただけますか。

(はい、の声あり)

それでは14事業全て希望額の全額を対象とさせていただきます。次に、(2)「地域活動支援事業二次募集について」事務局説明をお願いします。

【上原班長】

－資料 No.2 により説明－

【丸山会長】

いま説明がありました通り、24万3千円残額がある中で二次募集を行い、皆さんにその審査をしていただくということでもあります。その審査の方法ですが、一次募集では基本審査と牧区採択方針の○×の判定だけで、共通審査項目の採点をしないという方法で審査をしていただきました。二次募集においては、募集が1件だけで希望額が24万3千円以上ということであれば、○×で良いか悪いかの審査でいいと思いますが、2件、3件募集があつて希望額が24万3千円以下であった場合の審査の方法をどうするかということがございます。あくまで1次募集の審査の方法に基づいて審査をしていただければいいかと思っておりますが、その辺ご意見ございますか。

【佐藤健一委員】

会長が言われたように1次募集のルールに沿って進めていただいた方がいいと思います。

【丸山会長】

ほかにご意見はございますか。

(発言なし)

それでは1次募集の要領で進めさせていただきます。次にヒアリングを実施するかしないかですが、1次募集は4月29日に実施しましたが。

【佐藤健一委員】

基本的には1次募集と同じ流れで進めていただくのが1番良いと思います。

【丸山会長】

佐藤委員から意見が出されましたがヒアリングは実施するという事でよろしいですか。

(はい、の声あり)

それでは、1次募集と同じ要領で進めていくということでお願いします。

【難波委員】

1次募集の関係で上限が50万円ということで、50万円以上の事業で50万円の

補助希望額を出されているものはいいのですが、それ以外の総事業費の割に補助希望額が少ない、例えば1番の白峰地区協議会のものとかは、好ましくない部分が総事業費の中に入っているという判断なのか、補助希望額が総事業費より約10万円少ないですよね。こういう事業が何件か見受けられるので、2次募集は2次募集として、こういう事業に残額を充てるということも検討できるのではないですか。

【上原班長】

白峰地区協議会の総事業費の中には、収入としての会費が含まれているため補助希望額が少なくても事業ができるということになっております。

【難波委員】

他の事業も総事業費の中に会費なりが含まれているということですか。

【上原班長】

そうです。

【難波委員】

分かりました。

【丸山会長】

それでは協議事項(3)「指定避難所の見直しについて」事務局説明をお願いします。

【宮腰班長】

—資料 No.3 により説明—

【丸山会長】

5月19日から区内5地区において説明会を開催して、地域の皆さん方に話をされると。地域の皆さん方からのご理解が1番ですが、その前にこの協議会として皆さんのご意見があれば出していただきたいと思います。具体的に半径1.5キロメートル以内ということで地図の上にも表示されていますので、地域の皆さんも理解されやすいのかなと思っております。今まで指定されていた施設が解除されるということもきっちり徹底しておかないと、今までの慣例でそこに避難されるという誤解も生じかねないので、5月19日以降の説明会では総合事務所の皆さんから特段のご配慮をいただきたいと思います。

【金井景昭委員】

指定されている施設に外階段の高床式の建物が3か所くらい見受けられます。これらの施設は冬期間ではかなりきついと思いますが何か考えておられますか。

**【宮腰班長】**

今のこの案を作る段階で、中から入れる施設であるかどうかは考えておりません。「こっちの施設の方がいいよ」という意見も含めて地区の皆さんからお話を聞かせていただければと思っております。

**【飯田委員】**

私の住んでいる岩神町内の近くにある雨露町内会の場合、小川公会堂に行くより岩神に来た方が近いのではないかと思います。どういう災害が起きるかにもよりますが臨機応変に対応してよいのでしょうか。

**【宮腰班長】**

今日の資料の3ページ以降に「対象町内会」という形で記載させていただきましたが、こちらについては目安という形でお考えいただきたいと思えます。

**【丸山会長】**

災害といっても色々な災害がありますので、災害によって避難場所も町内会長の判断等が必要になることもあろうかと思えますので、決められない部分もあるのかと思えます。

**【岩崎委員】**

図に想定避難者数が載っていますが、例えば大月交流促進センターで41人というのはどのような人を想定しているのでしょうか。全員とするともっと多い気がしますが。

**【宮腰班長】**

資料の2ページ目をご覧くださいますと、指定避難所の所に※印で書いてありますが、地震発生時の最大想定避難者数である人口の10%を基本にするということです。この10%というのは各地の災害のデータをもとにしたものだそうです。

**【岩崎委員】**

高齢者の割合の多い地域ですと、10%という数字にこだわる事はできないと思うのですが。

**【宮腰班長】**

おそらく今の数字では高齢化率は加味しておりません。一律10%で数字を出しているのが実情だと思います。貴重なご意見だと思いますので、担当に話をしてみたいと思えます。

**【岩崎委員】**

お願いします。

**【丸山会長】**

中山間地域で高齢化が進んでいるとデータに表れない部分が出てくる可能性がありますので、事務局の方で本庁との検討課題にさせていただきようお願いします。

**【横尾委員】**

確かに指定避難場所をこのように決めていただくことは結構なのですが、そこに避難するために組織をきっちりしておかないと。何かあったらそこに行けというだけでなく、ここの施設については誰が指揮を執るとか、何人ぐらいで誘導するのかとかそっちの方が重要だと思います。

**【宮腰班長】**

おっしゃる通りで、長期化する指定避難所は基本的には職員が、緊急的な指定緊急避難所については町内会、それから自主防災組織が、というお話をさせていただきました。当然それぞれの町内会や自主防災組織でも鍵の保管場所なり開設の仕方なりのマニュアル作りをしていただく必要が今後あるでしょうし、予定でいきますと8月中には切り替えをしたいという話になっておりますので、皆さんとコンタクトを取りながら進めていきたいと思っています。

**【難波委員】**

避難所のうち6か所が未耐震となっているので、地域の皆さんは不安に思われるのではないのでしょうか。それと、災害の種類によって対応が変わってくると思いますし、また、お年寄りが多いので判断がつきにくい部分があるとは思いますが、今後シュミレーションしながら、考えていく必要があると思います。

**【飯田委員】**

牧区に自主防災組織はいくつあるのでしょうか。それと先ほど話ができましたが避難所を指定してもそこへ導く人、自主防災組織のある集落に関してはその組織の方々が年に何回か訓練などをしていると思いますが、ない集落は高齢化も進んでいますので行政の力が必要ではないかと思っています。

**【宮腰班長】**

牧区の中で自主防災組織を町内会として組織しているのは10あります。ここ2～3年でもいくつか立ち上げられたところがありますが、引き続き各町内会単位で自主

防災組織を立ち上げていただけるよう働きかけをしていこうと思いますし、立ち上げたからそれでいいというものでもないので、実際組織されたところについては年1回なり2回なりの訓練をしていただけるようお願いをしていきたいと思います。

**【丸山会長】**

地区懇談会での意見交換ということで各地区に総合事務所の皆さんが出向かれるということです。委員の皆さんも出席していただいて地域でどのような意見がでるのかを把握していただければと思っております。それでは協議事項(4)「その他」について何かございますか。

**【金井景昭委員】**

深山荘の決算状況について報告していただくことは可能ですか。

**【横田所長】**

3月31日を過ぎたので、数字はまとまりつつありますが、最終的に整理するのは今月いっぱいかかります。決算について公表していいかという問題もございますので出せる資料は出せる段階がきたら公表させていただきたいと思っております。

**【金井景昭委員】**

それと道路の維持管理に関して、牧区、板倉区、清里区でいくら維持管理費があるか公表できますか。

**【板倉区総合事務所 高嶋建設グループ長】**

整理させていただいて次回お示ししたいと思っております。

**【佐藤健一委員】**

もう1ついいですか。診療所の先生がこちらに定着いただいてまだ日も浅いわけですが、現況でいかがか情報提供していただけますか。

**【橋詰グループ長】**

遊佐先生は5月7日から牧診療所で診療を開始されております。7日の週は午前の診療のみということでしたが、週が明けて12日の週、今週からですが午後往診にも出られております。正確な患者数などはまだ把握しておりませんが、こちらでお話しできる状況になりましたらお知らせしていきたいと思っております。

**【丸山会長】**

他にございますか。

(発言なし)

それでは本日はこれで閉会したいと思います。最後に副会長から挨拶をお願いします。

**【西山副会長】**

ご苦勞さまでした。これから田植えがピークに迎え、また色々な行事があるかと思いますが、何かと地域協議会にご協力いただきたいと思います。ありがとうございました。

9 問合せ先

牧区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線 147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。